

実践例 「学習指導の深化・充実」

「課題4 個性の伸長を重視した指導計画・実践・評価の改善と充実」

I 学校名 北斗市立島川小学校【渡島管内】

II 研究の概要

- 1 研究主題 『個々の力を伸ばし、互いに高め合う子どもの育成』
～自分の思いや考え方を伝え合う算数科の授業を通して～

- 2 研究内容

本校の課題として、少人数において学力差がある児童間の交流場面の工夫、特別な配慮を必要とする児童への支援の工夫等を中心に、児童の学習状況に応じた手立てについて「ユニバーサルデザイン」の視点にたち、授業づくりを研究した。特に、教材教具の工夫、言語活動の工夫、『わかる・できる』を実感させる授業改善を重点的に研究し深化していった。

- (1) 教材教具の工夫

- ① 児童の学習状況に合わせた具体物操作を丁寧に行う。
- ② タブレットを活用する。→アプリの活用 大型モニターに映して意見の共有
- ③ 板書で、思考を可視化する。→解決までの考えの流れを図と言葉でまとめる。

- (2) 言語活動の工夫

- ① 論理的に考える手助けを与える。→図や式、考え方のわかるヒントの提示
- ② 既習事項をふりかえさせる。→教科書、ノートでの確かめ
- ③ リーダー学習、ペア学習で考えを共有する。→思考過程を共有し、深める

- (3) 授業改善 『わかる・できる』を実感させるためにしたこと

- ① 指導と評価の一体化した単元計画(評価計画)を作成する。
- ② 1単位時間の指導過程を全学年で統一して、授業における児童の思考の流れを育てる。
- ③ ユニバーサルデザイン下で、児童の学習状況に合わせた教育活動を実現する。
- ④ 望ましいが学習集団を育成するため、互いに学び合う、認め合う学級経営を行う。
- ⑤ 授業で学んだことや学ぶことが家庭学習や宿題とかかわりをもたせる。

- 3 課題4との関連

- 児童の学習状況に合わせた手立てを吟味して、教具を工夫することで、児童一人一人の学力を伸ばすことができると考えた。
- 指導と評価の一体化を図ることで、児童一人一人にきめ細かな指導を行い、着実に基礎基本を定着させることができると考えた。
- ICT 機器の活用することで、間接指導時、児童の思考を深めることができると考えた。
- 同時間接指導で、リーダー学習、ペア学習を取り入れ、「主体的・対話的な学び」のなるように授業を構築した。

Ⅲ 実践例

1 実践の概要 ※本時案参照

(1) 5年生の授業

- ①授業の展開で、「見通し」を持たせるために直接指導において、児童が自力解決のためのヒントのなる既習事項を児童の思考の流れとなるようにステップチャートを用いて板書する。
- ②「自力解決」ではタブレットを活用し、各自の考えを大型モニターに投影して考えている経緯が全体に見えるようにする。
- ③「交流」では、モニターを見ながら考え方の共通点を探ることができるようにする。

(2) 6年生の授業

- ①ペア学習を進める。
- ②児童2人で「教科書のみさきさんの発言」について検証する学習展開にする。

2 本時案

(1) 本時の目標

<5年生>

正三角形の辺の長さや角の大きさに着目し、正六角形がかける理由を考え、説明する。【思・判・表】

<6年生>

代表値としての中央値について理解し、代表値としてまとめる。【知・技】

(2) 本時の展開

<5年生>

<6年生>

学習活動	* 教師の支援 ★評価		* 教師の支援 ★評価	学習活動
1 問題を把握する 下の図はなんという多角形ですか。理由も説明	* 書き方の図を貼る	つ	* エクセルの表計算を使わせる	・ みさきさんの発言に着目する ・ 平均値 と比べる
2 めあてを把握する 半径の長さに着目して、なんという多角形か考えよう。		か	* 4分したら、確認させる	
3 見通しを持つ ・三角形OABは何という三角形かを確認する ・辺の長さ、角の大きさが等しいことを確認する。	* ステップチャートを用いる 	か む	* 前時のデータを確認させる(タブレット)	
4 自力解決に取り組む ・ 説明を考え、タブレットにかく(発表ノート)	* 図を配布する * タブレットを使い、友達の様子が見えるようにする(旧) * 4分したら交流することを指示する	考 え		・ 中央値 について知る 1 めあてを把握する めあて 中央値を求めてみよう

5 考えを交流する ・学習リーダー中心に交流する ・自分の考えをノートに書く	* 難しい場合には教科書を使うことを指示する	る 深 め る		<ul style="list-style-type: none"> ・1組の中央値を確認する ・数が偶数、奇数の場合を確認する
	* 正三角形の辺の長さや角の大きさに着目し、正六角形がかける理由を考え、説明している。【思・判・表】			
6 まとめる <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6つの正三角形がどれも合同であることを使うと、正六角形であることを説明できる。</div>	* 共通点を確認する	考 え ま と め る 深 め る ま と め る	<ul style="list-style-type: none"> * 7分したら、確認させる * 必要に応じて、計算機も可とする * ドットプロットも活用させる 	4 自力解決に取り組む
	* 友達と相談して解かせる			<ul style="list-style-type: none"> * データの特徴を調べるときに、中央値を用いることがあることや代表値について理解している。
7 プログラミングに取り組む	* 友達と相談して解かせる		<ul style="list-style-type: none"> * プログラミング(中央値)に取り組ませる * 友達と相談して解かせる 	5 まとめる <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">データの特徴を調べるとき、1つの値で代表させて比べることもある。これを代表値という</div>
				6 定着問題にとりくむ
				7 プログラミングに取り組む

(3)本時における評価規準と児童への指導方法

<5年生>

十分満足できる児童(A)	評価規準	評価規準を満たしていない児童への具体的な指導方法
正三角形の辺の長さや角の大きさに着目し、正六角形がかける理由を考え、筋道を立てて説明している。	正三角形の辺の長さや角の大きさに着目し、正六角形がかける理由を考え、説明している。	教科書の言葉の説明や友達の考え(タブレット)を参考にさせ、説明できるようにする。

<6年生>

十分満足できる児童(A)	評価規準	評価規準を満たしていない児童への具体的な指導方法
データの特徴を調べるときに、中央値を用いることがあることや平均値、最頻値なども代表値であることについて理解している。	データの特徴を調べるときに、中央値を用いることがあることや代表値について理解している。	見通しやつかむ場面を想起させたり、中央値について確認したりする。